



裁判所インターンシップ (家庭裁判所調査官)

東京家庭裁判所では、平成30年9月6日に裁判所インターンシップ(家庭裁判所調査官)を実施し、76人の方に参加していただきました。たくさんのご参加ありがとうございました。

～インターンシップの内容と参加者の声をご紹介します～

家裁調査官
による説明

インターンシップの目的や家裁調査官の役割及び業務内容について説明しました。



- ・仕事の流れや研修について理解することができた。
- ・家裁調査官について全く知らないことだらけで不安だったが、とても分かりやすく教えてもらった。

少年事件
調査前の検討

少年事件の模擬事例を用いて、家裁調査官が面接等始める前に行う準備作業を体験していただきました。



- ・見立て、仮説を立てる重要さに改めて気付くことができた。
- ・グループで同じ意見になることもあれば、自分の考えていなかった意見を聞くこともあり、グループでの意見交換の大切さを学ぶことができた。

少年事件 調査面接体験

調査の中心となる面接を体験してもらうため、グループごとにロールプレイを行いました。



- ・調査官と少年両者の立場を体験し、多角的に考えることができたと思う。
- ・面接を受ける人によって、どのようにコミュニケーションをとるのか考えることは大変なことだと感じた。
- ・実際の面接の雰囲気を感じる事ができた。

少年事件 処遇意見の検討

調査で把握した情報を踏まえて、少年にどのような処遇をすれば再非行を防げるかをグループで検討しました。



- ・少年の処遇方法について判断しながら、具体的にどのような処遇の種類があるかを知ることができた。
- ・処遇を決める難しさを知った。
- ・事件だけでなく、少年の過去や未来に目を向ける必要性を感じた。



家事事件 調査・検討

家事事件についてのDVDを視聴し、登場する家族に対する調査方法について、検討してもらいました。



- ・事例が本格的で真剣に考えることができた。
- ・家事事件における問題の重さが分かった。
- ・もともとは少年調査にしか興味がなかったが、家事についても考えるきっかけになった。
- ・少年調査の仕事のイメージが強かったため、改めて勉強になった。

座談会

班別に分かれ、各班を担当する家裁調査官が参加者からの質問・疑問にお答えしました。

・調査官の方とこんなにしっかり話せる機会が珍しく、楽しかった。

・不安や疑問に思っていたことに丁寧に答えてもらった。



職場見学

班別に分かれ、少年審判廷、児童室及び家裁調査官の執務室を見学しました。

このほかにも、参加した皆さんからたくさんのご好評の声をいただきました！
・初めてのインターンシップでとても緊張していたが、自主性を重んじてもらい、のびのびと討論ができ、とても勉強になった。

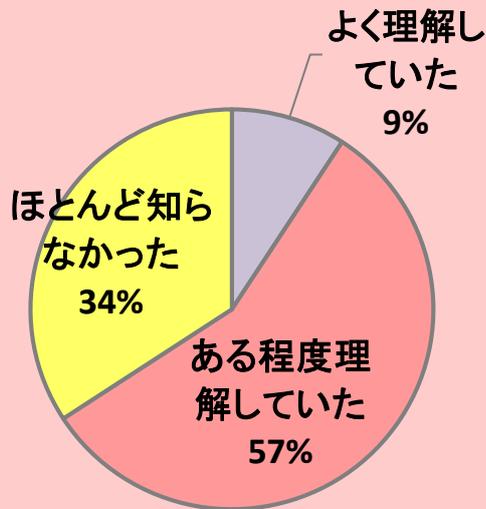
・家庭裁判所の皆さんの優しい話し方、ご配慮、丁寧な進行のおかげでとても過ごしやすいインターンシップになった。

など

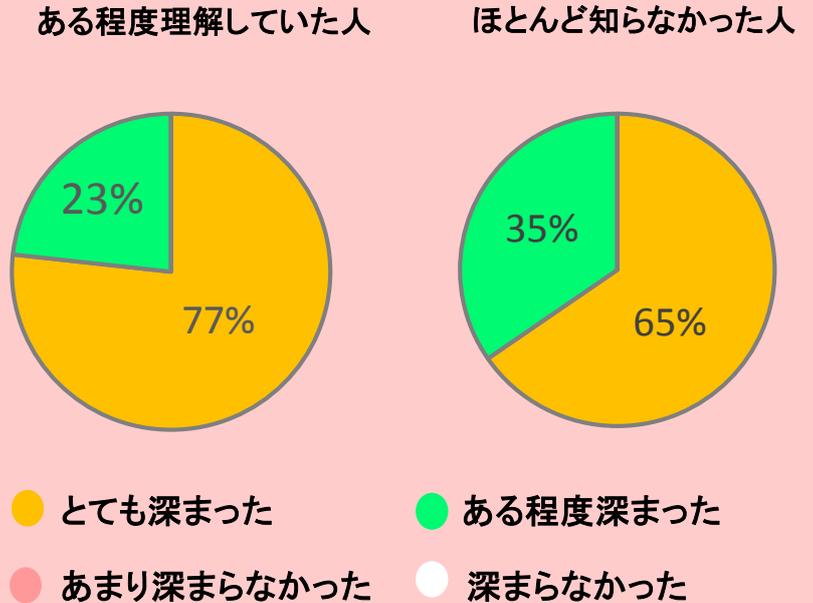
アンケート結果

家裁調査官の仕事についての理解度の変化

参加前



参加後



平成30年11月30日(金)に家裁調査官ガイダンスを実施します。
今年の4月に採用された家裁調査官補との交流会も行います。
詳細については、東京家庭裁判所のホームページをご確認ください。
みなさんのご参加をお待ちしております♪

【問い合わせ先】

東京家庭裁判所事務局人事課任用係

TEL:03-3502-7108(ダイヤルイン 平日8:30~17:00)